

(様式第9)

附 総 第 1 2 1 2 号
平成 1 9 年 1 0 月 1 7 日

厚生労働大臣

開設者名 公立大学法人横浜市立大学
理事長 宝 田 良 一

公立大学法人横浜市立大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	55人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	218人	101人	319.0人	看護業務補助	28人	診療エックス線技師	人
歯科医師	9人	3人	12.0人	理学療法士	11人	臨床検査技師	68人
薬 剤 師	28人	10.8人	38.8人	作業療法士	6人	衛生検査技師	人
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	5人	その他	人
助 産 師	31人	人	31.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看 護 師	529人	47.2人	576.2人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	人	人	人	栄 養 士	人	その他の技術員	5人
歯科衛生士	2人	人	2.0人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	57人
管理栄養士	9人	1人	10.0人	診療放射線技師	37人	その他の職員	9人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	549人	16人	565人
1日当たり平均外来患者数	1,830人	52人	1,882人
1日当たり平均調剤数		1,756剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	180人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	21人
・多発性硬化症	58人	・ウェゲナー肉芽腫症	10人
・重症筋無力症	68人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	28人
・全身性エリテマトーデス	304人	・多系統萎縮症	37人
・スモン	6人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	42人	・膿疱性乾癬	5人
・サルコイドーシス	111人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	27人	・原発性胆汁性肝硬変	20人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	255人	・重症急性膵炎	人
・特発性血小板減少性紫斑病	78人	・特発性大腿骨頭壊死症	26人
・結節性動脈周囲炎	20人	・混合性結合組織病	48人
・潰瘍性大腸炎	79人	・原発性免疫不全症候群	12人
・大動脈炎症候群	27人	・特発性間質性肺炎	6人
・ピュルガー病	15人	・網膜色素変性症	43人
・天疱瘡	27人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	64人	・原発性肺高血圧症	5人
・クローン病	12人	・神経線維腫症	13人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	15人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	人
・パーキンソン病関連疾患	166人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	人
・後縦靭帯骨化症	38人	・副腎白質ジストロフィー	人
・ハンチントン病	4人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	7回 / 月	
剖検の状況	剖検症例数 40 例	剖検率 13.5 %

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自家液体室素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	10人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

(様式第11) 1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
1	酵母におけるグルコース効果調節因子GID複合体のヒト相同体に関する筋細胞での機能	上田 敦久	リウマチ・血液・感染症内科	1,200	補委 文部科学省
2	白血球遊走におけるインテグリン-ILK- γ parvinシグナルの解析	山路 聡	リウマチ・血液・感染症内科	1,100	補委 文部科学省
3	厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)難治性血管炎に対する血管再生療法の多施設共同研究	石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科	3200	補委 厚生労働省
4	厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)ベーチェット病に関する調査研究班	石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科	1300	補委 厚生労働省
5	厚生労働省科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業)関節リウマチ治療における新規生物製剤の治療方針の作成及びその検証に関する研究	石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科	1500	補委 厚生労働省
6	厚生労働省エイズ対策研究事業「薬剤耐性HIVの動向把握のための調査体制確立およびその対策に関する研究」	石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科	1500	補委 厚生労働省
7	厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)難治性血管炎に関する調査研究	岳野光洋	リウマチ・血液・感染症内科	200	補委 厚生労働省
8	文部科学省21世紀プログラム(研究拠点形成費補助金)	石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科	1000	補委 文部科学省
9	難治性免疫・アレルギー疾患と感染症に関する先端的検査・治療法の開発:クリニックからベンチ・ベンチからクリニックへ	石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科	8000	補委 横浜市立大学教育戦略プロジェクト
10	科学研究費基盤研究(C)酵母におけるグルコース効果調節因子GID複合体のヒト相同体に関する筋細胞での機能	上田 敦久	リウマチ・血液・感染症内科	1200	補委 文部科学省
11	炎症性疾患におけるheme oxygenase-1の役割	岳野 光洋	リウマチ・血液・感染症内科	1000	補委 横浜総合医学振興財団推進研究助成
12	リンパ系悪性腫瘍の浸潤・増殖能とILK- γ parvinシグナル系の解析	山路 聡	リウマチ・血液・感染症内科	1000	補委 横浜総合医学振興財団推進研究助成
13	「PPAR γ リガンドを用いた大腸化学発癌予防の研究」	中島 淳	消化器内科	9,230	補委 文部科学省
14	「疾患モデルを用いた発がんの分子機構及び感受性要因の解明とその臨床応用」	中島 淳	消化器内科	3,500	補委 厚生労働省
15	「特定疾患の微生物学的原因究明に関する研究」	中島 淳	消化器内科	2,400	補委 厚生労働省
16	「国民の視点に基づく適切な診断過程の確立に関する研究」	中島 淳	消化器内科	1,500	補委 厚生労働省
17	「消化器疾患の診断治療抗体のスクリーニング」	中島 淳	消化器内科	5,000	補委 厚生科研費

No.	研究課題名	氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
18	「霊長類モデルを用いたエイズ腸管病態形成機構の解明と治療への応用」	中島 淳	消化器内科	5,000	補委 厚生科研費
19	新規腫瘍マーカーによる膵臓がんの診断 早期膵臓がん発見	窪田 賢輔	消化器内科	1,700	補委 文部科学省
20	高齢腹部外科手術患者における術前評価に関する研究	嶋田 紘	消化器病態外科学	650	補委 長寿医療研究委託費
21	肝腫瘍臨床研究	嶋田 紘	消化器病態外科学	150	補委 肝腫瘍臨床研究班臨床試験研究費
22	下部消化管腫瘍研究	嶋田 紘	消化器病態外科学	150	補委 下部消化管腫瘍研究班臨床試験研究費
23	細胞極性システム研究に基づく未来医療創成	嶋田 紘	消化器病態外科学	1,000	補委 21世紀COE
24	NF- κ b Decoyを用いた過大肝切除後肝不全の制御	渡会 伸治	消化器病態外科学	2,400	補委 文部科学省
25	光触媒の医学応用の学理と技術開発の研究	窪田 吉信	泌尿器科	10,700	補委 文部科学省
26	前立腺癌の再燃を方向づける極性制御分子の解析・同定と診断・治療への応用	窪田 吉信	泌尿器科	3,000	補委 日本学術振興会
27	膀胱上皮内癌部位診断へのナノ光触媒ハイブリッド微粒子の応用研究	窪田 吉信	泌尿器科	2,000	補委 日本学術振興会
28	臨床病理因子及び遺伝子情報に基づく腎癌の再発・予後予測ノモグラムの構築	矢尾 正祐	泌尿器科	2,200	補委 日本学術振興会
29	前立腺癌におけるアンジオテンシンIIの生理的機能の解析	上村 博司	泌尿器科	1,000	補委 日本学術振興会
30	細胞内情報伝達系を包括的に標的とした新規腎癌治療法開発のための研究	中井川 昇	泌尿器科	1,600	補委 日本学術振興会
31	胃癌における増殖機構を標的とした包括的治療法の開発	中井川 昇	泌尿器科	1,600	補委 文部科学省
32	前立腺癌の発生、進展に関わる遺伝子の解析	三好 康秀	泌尿器科	1,800	補委 日本学術振興会
33	培養精原幹細胞を用いたex vivo精子形成再生法の開発	小川 毅彦	泌尿器科	2,100	補委 文部科学省
34	脂肪細胞、前立腺癌細胞と前立腺間質細胞の相互作用による癌進展の解析	石黒 斉	泌尿器科	2,500	補委 日本学術振興会
35	細胞極性システム研究に基づく未来医療創成	窪田 吉信	泌尿器科	6,000	補委 日本学術振興会

No.	研究課題名	氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
36	全ゲノムを対象とした遺伝性眼疾患のマイクロサテライトマッピング	水木 信久 (代表)	眼科	3,100	補委 文部科学省(文部科学省科学研究費補助金基盤研究)
37	ベーチェット病に関する研究	水木 信久 (分担)	眼科	1,000	補委 厚生労働省(厚生省特定疾患ベーチェット病研究班補助金)
38	正常眼圧緑内障の疾患感受性遺伝子の同定および迅速遺伝子診断キットの開発に関する研究	水木 信久 (主任)	眼科	29,000	補委 厚生労働省(厚生労働省科学研究費補助金感覚器障害研究業))
39	頭頸部癌に対する有用性の高い分子標的療法の開発	佃 守	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,500	補委 文部科学省
40	頭頸部進行癌に対する漢方治療の有用性評価	佃 守	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900	補委 厚生労働省
41	先進医療を目指した頭頸部進行癌に対する臓器温存のための放射線化学療法併用療法の多施設研究	佃 守	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,100	補委 横浜市立大学研究戦略プロジェクト研究費
42	放射線医学分野に関する学術動向の調査・研究	井上 登美夫	放射線科	3,500	補委 日本学術振興会
43	新しい診断機器の検診への応用とこれを用いた診断精度の向上に関する研究	井上 登美夫	放射線科	3,000	補委 厚生労働省科学研究費(第3次対がん総合戦略研究事業)
44	がん診療における分子イメージングの臨床応用に関する研究	井上 登美夫	放射線科	10,882	補委 厚生労働省科学研究費(がん研究助成金)
45	UWB技術のユビキタス医療への臨床応用に関する研究	井上 登美夫	放射線科	9,500	補委 独立行政法人情報通信研究機構から受託
46	MRIを用いた温熱療法システム	丹羽 徹	放射線科	2,900	補委 科学研究費, 若手研究B
47	放射線科射線抵抗性関連遺伝子bcl-2, HIFを標的としたsiRNAの放射線増感効果	大村素子	放射線科	700	補委 科学研究費 基盤研究C
48	ラジオ波焼灼術による肺悪性腫瘍およびその転移病変の治療	岩澤多恵	放射線科	500	補委 神奈川県がん研究基金
49	扁平上皮癌に対する樹状細胞を用いた温熱免疫細胞療法	藤内 祝	口腔外科	3,400	補委 日本学術振興会
50	CD34陽性細胞を併用する骨再生促進法の開発	松井 義郎	口腔外科	3,770	補委 日本学術振興会
51	頭頸部扁平上皮癌におけるCD109の発現と診断的意義に関する研究	光藤 健司	口腔外科	779	補委 日本学術振興会
52	口腔心身症に対する簡便な自律神経機能検査による症状・病態の定量的評価	渡貫 圭	口腔外科	400	補委 文部科学省
53	唾液腺癌における“がん幹細胞”の分離と特性解析	廣田 誠	口腔外科	2,470	補委 日本学術振興会

No.	研究課題名	氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
54	頭頸部癌動注化学放射線療法における正常細胞のための治療スケジュールの開発	福井 敬文	口腔外科	1,900	補委 文部科学省
55	麻酔薬の神経伝達物質日内変動リズムに及ぼす影響	菊地 龍明	麻酔科	800	補委 文部科学省
56	術後高次脳機能障害に対するグルタミン酸NMDA受容体拮抗性麻酔薬の治療効果	後藤 隆久	麻酔科	700	補委 文部科学省
57	神経因性疼痛時の脊髄後角抑制性神経でのKチャンネル修飾タンパク発現の意義とその解明	佐伯 美奈子	麻酔科	1,300	補委 文部科学省
58	揮発性麻酔薬の神経細胞のフリーラジカルに対する作用の解明	紙谷 義孝	麻酔科	1,100	補委 文部科学省
59	麻酔薬の中脳ドパミンニューロンカリウムチャンネルに及ぼす影響	小川 賢一	麻酔科	2,300	補委 文部科学省
60	低酸素性肺血管収縮におけるカルシウム依存性、非依存性収縮の機序解明	水野 祐介	麻酔科	1,500	補委 文部科学省
61	気道上皮細胞増殖因子遺伝子導入による急性・慢性肺傷害治療にむけた基盤研究	倉橋 清泰	麻酔科	1,900	補委 文部科学省
62	VHL遺伝子・タンパクによって誘導された神経系細胞による脊髄神経再生に関する研究	村田 英俊	脳神経外科	1200	補委 科学研究費補助金(若手研究(B))
63	細胞極性システム研究に基づく未来医療創成	菅野 洋 (研究代表者)	脳神経外科	500	補委 21世紀COE補助金
64	BC-BOXペプチドによる体性幹細胞からの神経分化誘導及び神経機能評価	菅野 洋 (研究代表者)	脳神経外科	5400	補委 独立行政法人 科学技術振興機構
65	VHL遺伝子・ペプチドによる組織幹細胞・ES細胞の神経分化誘導と再生医療への応用	菅野 洋 (研究代表者)	脳神経外科	1400	補委 科学研究費補助金(基盤研究(B))
66	骨髄間質細胞からの神経並びに筋細胞の選択的誘導とパーキンソン病・筋ジストロフィーへの自家移植治療の開発	菅野 洋 (研究分担者)	脳神経外科	分担金として、 800	補委 厚生労働科学研究費補助金
67	ヒト軟骨幹・前駆細胞の同定とその臨床応用	前川 二郎	形成外科	1,200	補委 横浜市立大学 研究戦略プロジェクト 研究費
68	ヒト軟骨幹・前駆細胞の同定とその臨床応用	前川 二郎	形成外科	400	補委 (財)横浜総合医学振興財団
69	造血幹細胞移植後の重篤な血管内皮障害にかかわる活性化顆粒球の役割	黒木 文子	小児科	100	補委 文部科学省 (若手研究 B)
70	川崎病急性期と回復期における末梢血細胞中のmRNA発現変動を用いた病因病態解析	今川 智之	小児科	500	補委 文部科学省
71	小児期の成長板における軟骨細胞の分化に及ぼす炎症性サイトカインの影響	森 雅亮	小児科	1100	補委 文部科学省 (基盤研究 C)

No.	研究課題名	氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
72	プロテオーム解析法を用いた川崎病患者における病因蛋白質の網羅的解析	横田 俊平	小児科	900	補委 萌芽研究
73	抗IL-6レセプター抗体を用いた若年性特発性関節炎の病態に関する網羅的解析	横田 俊平	小児科	3000	補委 基盤研究 B
74	超音波刺激とヒアルロン酸を駆使した軟骨再生に関する研究	竹内 良平 (代表)	整形外科	1500	補委 文部科学省 (基盤研究 C)
75	救急医療支援ブロードバンド無線ネットワーク構築と遠隔操作医療支援ロボットの開発	竹内 良平 (代表)	整形外科	3400	補委 文部科学省 (基盤研究 C)
76	新open-wedge高位脛骨骨切り術用人工骨組織創生とアジアサイズ固定用チタンプレートの開発	竹内 良平 (運動器再建ユニット代表)	整形外科	3000	補委 横浜市大研究戦略プロジェクト
77	腰椎とエコノミー症候群を予防する長時間着座のための腰椎用CPMの開発	青田 洋一	整形外科	700	補委 横浜市大地域貢献促進費

計 77

(様式第11) 2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	Mod Rheumatol. 2006;16(3):165-8.	Systemic sclerosis and pseudomesotheliomatous adenocarcinoma of the lung.	Yoshimi R	リウマチ・血液・感染症内科
2	Bone Marrow Transplant. 2006 Mar;37(5):537-8.	Long-term remission in a patient with hepatosplenic gammadelta T cell lymphoma after cord blood stem cell transplantation following autologous peripheral blood stem cell transplantation.	Sakai R	リウマチ・血液・感染症内科
3	J Immunol. 2006 Mar 15;176(6):3611-24.	The gamma-parvin-integrin-linked kinase complex is critically involved in leukocyte-substrate interaction.	Yoshimi R	リウマチ・血液・感染症内科
4	Arthritis Res Ther. 8(3):R76, 2006	Bone erosions in rheumatoid arthritis can be repaired through reduction in disease activity with conventional disease-modifying antirheumatic drugs.	Ideguchi H	リウマチ・血液・感染症内科
5	日本呼吸器学会雑誌(1343-3490)44巻4号 Page325-329(2006.04)	Large cell carcinoma of the lung with rhabdoid phenotypeの1例	後藤秀人	呼吸器内科
6	Arthritis Rheum. 2006 Apr;54(4):1132-42.	Regulatory role of heme oxygenase 1 in inflammation of rheumatoid arthritis.	Kobayashi H	リウマチ・血液・感染症内科
7	癌と化学療法(0385-0684)33巻4号 Page471-475(2006.04)	進行非小細胞肺癌に対するCarboplatin+Weekly Paclitaxel併用化学療法の検討	橋爪敏彦	リウマチ・血液・感染症内科/呼吸器内科
8	日本呼吸器学会雑誌(1343-3490)44巻4号 Page305-311(2006.04)	慢性呼吸器疾患患者における肺炎球菌ワクチンの短期効果(原著論文/抄録あり)	綿貫祐司	呼吸器内科
9	癌と化学療法(0385-0684)33巻4号 Page467-470(2006.04)	未治療進行非小細胞肺癌に対するGefitinibによる初回治療の検討	橋爪敏彦	呼吸器内科
10	Intern Med. 45(5):247-52, 2006	Prognostic factors in diffuse large B-cell lymphoma treated by risk-adopted therapy.	Tomita N	リウマチ・血液・感染症内科
11	Biotherapy(0914-2223)20巻3号 Page319-322(2006.05)	Rituximabが奏効した高齢者特発性血小板減少性紫斑病	宮崎拓也,	リウマチ・血液・感染症内科
12	Am J Hematol. 2006 Jun;81(6):439-42.	Non-Hodgkin's lymphoma presenting as multiple bone lesions and hypercalcemia.	Takasaki H	リウマチ・血液・感染症内科
13	Leuk Lymphoma. 2006 Jun;47(6):1041-7.	Phase II study of CHOP-GR therapy for advanced-stage follicular lymphoma.	Tomita N	リウマチ・血液・感染症内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
14	感染症学雑誌80(6)762, 2006	敗血症での起炎菌同定におけるハイブリゼップ法の有用性と問題点の検討.	工藤誠	呼吸器内科
15	Am J Respir Crit Care Med. 174(8):906-14, 2006	Heme Oxygenase-1, a Potential Biomarker of Chronic Silicosis, Attenuates Silica-induced Lung Injury.	Sato T	リウマチ・血液・感染症内科
16	Int J Hematol. 2006 Aug;84(2):128-35. Review.	Secondary central nervous system lymphoma.	Tomita N	リウマチ・血液・感染症内科
17	臨床血液47(9)1241, 2006	同種造血幹移植におけるhematopoietic cell transplantation specific comorbidity indexの有用性の検討.	藤巻克通	リウマチ・血液・感染症内科
18	臨床血液(0485-1439)47巻10号 Page1393-1395(2006.10)	海綿静脈洞症候群を呈した多発性骨髄腫	宮崎拓也	リウマチ・血液・感染症内科
19	臨床血液(0485-1439)47巻11号 Page1463-1468(2006.11)	Bacillus cereusによる脳膿瘍を発症し抗生剤治療後に臍帯血移植を行なった急性骨髄性白血病	桑原英幸	リウマチ・血液・感染症内科
20	Int J Hematol. 2006 Dec;84(5):417-20.	Acute myelomonocytic leukemia with dysplastic bone marrow eosinophils showing t(5;17)(q13;q11) and a secondary chromosomal aberration, inv(16)(p13q22).	Sakai R	リウマチ・血液・感染症内科
21	日本内科学会雑誌95 155, 2006	安定期慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者におけるチオトロピウムの上乗せ効果の有用性.	西川正憲	リウマチ・血液・感染症内科/呼吸器内科
22	American Journal of Clinical Pathology 2006;126:908-915	Four-Color Flow Cytometric Analysis of Myeloma Plasma Cells	Kobayashi H	リウマチ・血液・感染症内科
23	Int J Hematol,84:432-437,2006	Human herpesvirus 6 meningoencephalitis in allogeneic hematopoietic stem cell transplant recipients.	Fujimaki K	リウマチ・血液・感染症内科
24	Int J Hematol,83:370-372,2006.	Outcome of involved-field radiotherapy for stage 1 follicular lymphoma.	Tomita N	リウマチ・血液・感染症内科
25	Lupus. 2007;16(1):59-64.	Catastrophic antiphospholipid syndrome associated with malignancies (case report and review of the literature).	Ideguchi H	リウマチ・血液・感染症内科
26	Rheumatol Int. 2007 Feb;27(4):411-4.	A case of pure red cell aplasia and systemic lupus erythematosus caused by human parvovirus B19 infection.	Ideguchi H	リウマチ・血液・感染症内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
27	Arthritis Rheum. 2007 Feb;56(2):464-75.	Tumor necrosis factor alpha acceleration of inflammatory responses by down-regulating heme oxygenase 1 in human peripheral monocytes.	Kirino Y	リウマチ・血液・感染症内科
28	Cancer. 2007 Mar 15;109(6):1146-51.	Comparison of peripheral T-cell lymphomas and diffuse large B-cell lymphoma.	Tomita N	リウマチ・血液・感染症内科
29	厚生労働科学研究(特定疾患対策研究事業)ベーチェット病に関する研究平成18年度研究報告書:47-50,2007.	ベーチェット病におけるHO-1発現低下とTLR発現異常	石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科
30	厚生労働科学研究(特定疾患対策研究事業)ベーチェット病に関する研究平成18年度研究報告書:79-82,2007.	生物学的製剤使用時における結核の免疫学的診断法	石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科
31	Nephron, 102	Expression of cyclooxygenase-2 in the juxtaglomerular apparatus of angiotensinogen gene-knockout mice.	橋本 達夫	腎臓・高血圧内科
32	Arterioscler Thromb Vasc Biol, 26	Apelin stimulates myosin light chain phosphorylation in vascular smooth muscle cells.	橋本 達夫	腎臓・高血圧内科
33	Laboratory Investigation, 87	Roles for host and tumor angiotensin II type 1 receptor in tumor growth and tumor-associated angiogenesis.	今井 のぞみ	消化器内科
34	Kidney Int, 69	Efficacy of local dipyridamole therapy in a porcine model of arteriovenous graft stenosis.	久慈 忠司	腎臓・高血圧内科
35	PACE 29	Evaluation of myocardial glucose metabolism before and after recovery of myocardial function in patients with tachycardia-induced cardiomyopathy.	松本 克己	循環器内科
36	PACE 29	Assessment of atrial regional wall motion using strain Doppler imaging during biatrial pacing in the bradycardia-tachycardia syndrome.	松本 克己	循環器内科
37	J Arrhythmia ; 22	Changes of Sympathetic Activity in Patient with Chronic Atrial Fibrillation and Severe Congestive Heart Failure Treated with Biventricular Pacing.	松下 浩平	循環器内科
38	J Cardiol ;47	Improvement of central sleep disordered breathing with severe congestive heart failure by biventricular pacing therapy: A case report.	松下 浩平	循環器内科
39	Circ J : 70	Daily shock impedance measured by implantable cardioverter defibrillator is useful in the management of congestive heart failure.	松下 浩平	循環器内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
40	Kidney Int. 69	Interacting molecule of AT1 receptor, ATRAP, is colocalized with AT1 receptor in the mouse renal tubules.	鶴見 裕子	腎臓・高血圧内科
41	Heart and Vessels:247-250	Adenosine concentration in great cardiac vein is increased in non-ventricular fibrillation dogs.	内野 和顕	腎臓・高血圧内科
42	J Exp Clin Cancer Res. 2006;24	Differential expression of peroxisome proliferators-activated receptor in histologically different human gastric cancer tissues.	Nomura S, Nakajima A, Ishimine S, Matsuishi N, Kadowaki T Kaminishi M	消化器内科
43	Int.J.Cancer:2006;120, 702-713	PPAR γ inhibitors reduce tubulin protein levels by a PPAR γ PPAR δ and proteasom-independent mechanism, resulting in cell cycle arrest, apoptosis and reduced metastasis of colorectal carcinoma cells	Schaefer CL, Takahashi H, Morales VM, Narris G, Barton S, Osawa E, Nakajima A, Saubermann LJ.	消化器内科
44	Cancer Sci. 2006;97:4906-9	Inhibition of peroxisome proliferators-activated receptor gamma activity in esophageal carcinoma cells results in a drastic decrease of invasive properties.	Takahashi H, Fujita K, Fujisawa T, Yonemitsu K, Tomimoto A, Ikeda I, Yoneda M, Schaefer CL, Saubermann LJ, Shimamura T, Saitoh S, Tachibana M, Wada K, Nakagama H, Nakajima A.	消化器内科
45	The FASEB Journal. 2006;06:1785-1792	Leukotriene B4 and lipoxin A4 are regulatory signals for neural stem cell proliferation and differentiation.	Wada K, Arita M, Nakajima A, Katayama K, Kudo C, Kamisaki Y, Serhan CN.	消化器内科
46	Clin Cancer Res. 2006 ;12:3257-64	Identification of ROBO1 as a novel hepatocellular carcinoma antigen and a potential therapeutic and diagnostic target.	Ito H, Funahashi S, Yamauchi N, Shibahara J, Midorikawa Y, Kawai S, Kinoshita Y, Watanabe A, Hippo Y, Ohtomo T, Iwanari H, Nakajima A, Makuuchi M, Fukayama M, Hirata Y, Hamakubo T, Kodama T, Tsuchiya M, Aburatani H.	消化器内科
47	J Gastroenterol. 2006 ;41:605-6	Blastocystis hominis infection in patient with regular dialysis.	Hayashi M, Inamori M, Goto K, Akiyama T, Fujita K, Ikeda I, Fujisawa T, Takahashi H, Yoneda M, Hara K, Abe Y, Kirikoshi H, Kubota K, Saito S, Ueno N, Nakajima A, Hamada Y, Fukutomi H, Satsuta H	消化器内科
48	Journal of Biological Chemistry 2006;18:12673-81	Peroxisome Proliferator-activated Receptor γ -mediated Regulation of Neural Stem Cell Proliferation and Differentiation.	Wada K, Nakajima A, Kazufumi K, Kudo C, Shibuya A, Kubota N, Terauchi Y, Tachibana M, Miyoshi H, Kamisaki Y, Mayumi T, Kadowaki T, Blumberg RS	消化器内科
49	Hepato-Gastroenterology 2006;53:376-380	Pleural Effusions following Endoscopic Injection Sclerotherapy for Cirrhotic Patients with Exophageal Varices	Kayama H, Inamori M, Togawa J, Shimamura T, Tokita Y, Umezawa T, Sakaguchi T, Naitoh M, Nagase H, Nakajima A, Saito T, Tominaga S, Ueno N, Tanaka K, Sekihara H.	消化器内科
50	Hepat-Gastroenterology 2006;53:361-365	mRNA Expression of Inducible Nitric Oxide Synthase, Endothelial Nitric Oxide Synthase and Vascular Endothelial growth Gactor in Exophageal Mucosa Biopsy Specimens from Patients with Reflux Exophagitis.	Inamori M, Shimamura T, Nagase H, Abe Y, Umezawa T, Nakajima A, Saito T, Ueno N, Tanaka K, Sekihara H, Togawa J, Kaifu H, Tsuboi H, Kayama H, Tominaga S	消化器内科
51	Int J. Cancer. 2006;118:2232-6	Predominant T helper type 2-inflammatory responses promote murine colon cancers.	Osawa E, Nakajima A, Fujisawa T, Kawamura YI, Toyama-Sorimachi N.	消化器内科
52	Endocr J. 2006 ;53:345-56.	Relationship between the serum concentrations of C-reactive protein and parameters of adiposity and insulin resistance in patients with type2 diabetes mellitus.	Iwasaki T, Nakajima A, Yoneda M, Terauchi Y.	消化器内科
53	J Gastroenterol Hepatol. 2006;	Gastrointestinal:rectal polyp associated with schistosomiasis.	Abe Y, Inamori M, Fujita K, Fujisawa T, Fujisawa N, Yoneda M, Takahashi H, Ikeda T, Hara K, Akiyama T, Kawamura H, Kato A, Kirikoshi H,	消化器内科
54	J Gastroenterol Hepatol. 200	Gastrointestinal :Gastrointestinal metastases from malignant melanoma.	Inamori M, Ueno N, Fujita K, Fujisawa N, Yoneda M, Takahashi H, Ikeda T, Kawamura H, Abe Y, Kato A, Kirikoshi H, Kobayashi N, Shimamura T,	消化器内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
55	J Gastroenterol Hepatol. 2006 ;21:1751-2	Evaluation of postprandial 3 h pH monitoring for gastroesophageal reflux disease:is there a possibility of streamlining the 24 h test?	Inamori M, Akiyama T, Akimoto K, Takahashi H, Abe Y, Nakajima A.	消化器内科
56	J Hepatobiliary Pancreat Surg. 2006;13:468-71	Undifferentiated spindle-cell carcinoma of the gallbladder:an immunohistochemical study.	Kubota K, Kakuta Y, Kawamura s, Abe Y, Inamori M, Kawamura H, Kirikoshi H, Kobayashi N, Saito S, Nakajima A.	消化器内科
57	Immunity. 2006 ;209:4574-9	SHP1 Phosphatase-Dependent T Cell Inhibition by CEACAM1 Adhesion Molecule Isoforms.	Nagaishi T, Pao L, Lin SH, Iijima H, Kaser A Qiao SW, Chen Z, Glickman J, Najjar SM, Nakajima A, Neel BG, Blumberg RS	消化器内科
58	Ann N Y Acad Sci. 2006;1072:155-75	Role of CEACAM1 as a regulator of T cells.	Nagaishi T, Iijima H, Nakajima A, Chen D, Blumberg RS.	消化器内科
59	Journal of the American College of Surgeons 201 (4)	The Impact of Advanced Age on Hepatic Resection of Colorectal Liver Metastases	Nagano Y	消化器病態外科学
60	World Journal of Surgery 29	Efficacy of Hepatic Resection for Hepatocellular Carcinomas Larger than 10cm	Nagano Y	消化器病態外科学
61	International Surgery	Usefulness of Prophylactic Transcatheter Arterial Infusion of Anticancer Agents With Lipiodol to Prevent Recurrence of Hepaticellular Carcinoma After Hepatic Resection	Togo S	消化器病態外科学
62	British Journal of Cancer	Surgical outcome of Solitary Colorectal Metastasis to the Hepatic Caudate lobe	Tanaka K	消化器病態外科学
63	Journal of Endotoxin Research	Role of transforming growth Factor- β 1 (TGF- β 1) in endotoxin induced hepatic failure after extensive hepatectomy in rats	Yoshimoto N	消化器病態外科学
64	Journal of Gastrointestinal Surgery	Preconditioning Effects: Prostaglandin E1 Induced Heat-Shock Proteins Immediately After Ischemia/Reperfusion of the Mouse Liver	Matsuo K	消化器病態外科学
65	Journal of Surgical Research	A Good Model of Hepatic Failure after Excessive Hepatectomy in Mice	Makino H	消化器病態外科学
66	Genes Chromosomes Cancer	Characterization of a 3;6 translocation associated with renal cell carcinoma.	Yao M(矢尾正祐)	泌尿器科
67	Journal of Cancer Research and Clinical Oncology	Immunotherapy Oncology Group for Renal Cell Carcinoma: Prospective randomized trial of natural interferon-alpha versus natural interferon-alpha plus cimetidine in advanced renal cell carcinoma with pulmonary metastasis.	Kubota Y (窪田吉信)	泌尿器科
68	Cancer Res	Inactivation of von Hippel-Lindau gene induces constitutive phosphorylation of MET protein in clear cell renal carcinoma.	Kubota Y (窪田吉信)	泌尿器科
69	泌尿器科紀要	Recovery of serum prostate specific antigen value after interruption of antiandrogen therapy with allylestrenol for benign prostatic hyperplasia.	Kubota Y (窪田吉信)	泌尿器科
70	Int J Urol	Hydronephrosis in the early stage of pregnancy after renal transplantation.	Kubota Y (窪田吉信)	泌尿器科
71	Am J Pathol	Growth:Regulation via Insulin-Like Growth Factor Binding Protein-4 and -2 in Association with Mutant K-ras in Lung Epithelia.	Kubota Y (窪田吉信)	泌尿器科
72	The Prostate	Renin-angiotensin system is an important factor in hormone refractory prostate cancer.	Kubota Y (窪田吉信)	泌尿器科
73	泌尿器外科	アンジオテンシンII受容体ブロッカーによる内分泌療法抵抗性前立腺癌に対する分子標的治療法の検討.	上村博司	泌尿器科
74	Bio Industry	光触媒を利用した抗がん剤の副作用を低減する方法の検討.	窪田吉信	泌尿器科
75	臨床泌尿器科	泌尿器科医のための性器脱の診断と治療.	窪田吉信	泌尿器科
76	泌尿器科外科	感受性試験に基づく化学療法の試み.	窪田吉信	泌尿器科
77	Jpn J Endourol ESWL	皮膚小切開併用, 後腹膜鏡下根治的腎摘除術— Learning curveと合併症について—.	横山和秀 窪田吉信	泌尿器科
78	Tissue Antigens 67(5): 390-394,2006.	Four-digit allele genotyping of the HLA-A and HLA-B genes in Japanese patients with Behcet's disease by a PCR-SSOP-Luminex	Itoh Y	眼科
79	J Dermatol Sci 43(3):201-205,2006.	Single nucleotide polymorphisms of Ficolin 2 gene in Behcet's disease	Chen X	眼科
80	J Invest Dermatol 126 (7):1534-1540,2006.	Role of IL-12B promoter polymorphism in Adamantiades-Behect's disease susceptibility: An involvement of Th1 immunoreactivity against Streptococcus Sanguinis antigen.	Yanagihori H	眼科
81	Immunogenetics 58(12):947-53,2006.	Single nucleotide polymorphisms of transforming growth factor-induced factor gene indicates to have no association with high.	Hasumi Y	眼科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
82	J Med Virol 79(2):200-205,2006.	Isolation and identification of adenovirus from conjunctival scrapings over a two-year period (between 2001 and 2003) in Yokohama, Japan	Matsui K	眼科
83	Mol Vis 20(12):1601-1605,2006.	Tyrosinase gene family and Vogt-Koyanagi-Harada disease in Japanese patients.	Horie Y	眼科
84	日本眼科紀要 57(2):114-118,2006.	サイコイドーシス臨床診断基準の見直し	石原麻美	眼科
85	眼科臨床医報 100(6):391-395,2006.	非動脈性前部虚血性視神経症10眼の治療効果	木村綾子	眼科
86	日本眼科紀要 57(3):205-208,2006.	長期局所免疫抑制に起因すると考えられたコリネバクテリウムによる両眼性外眼角炎の1例	泉研一	眼科
87	あたらしい眼科 23(7):921-924,2006.	高感度アデノウイルス結膜炎迅速診断キットの評価 アデノウイルス結膜炎迅速診断キット、キャピリアアデノとアデノチェックの比較	竹内聡	眼科
88	あたらしい眼科 23(11):1467-1469,2006.	慢性移植片対宿主反応の経過中に角膜ヘルペスを発症した1例	林孝彦	眼科
89	臨床眼科 60(9):1633-1635,2006.	水晶体温存硝子体手術における術後水晶体調節力	西出忠之	眼科
90	眼科臨床医報 100(10):754-757,2006.	2歳児急性リンパ性白血病治療中に発症したサイトメガロウイルス網膜炎の1例	加藤明世	眼科
91	眼紀 57:877-880,2006.	サルコイドーシス眼病変における重症度、難治性の検討	飛鳥田有里	眼科
92	JAMA J 49:260-268,2006.	Ocular manifestation in Behcet's disease.	Hayashi T	眼科
93	免疫の進化、IV Autoimmune Disease-Contribution of Cyclosporin-(シクロスポリン学術国際シンポジウム編集)、医薬ジャーナル社、196-203,2006.	ベーチェット病に対するシクロスポリン治療	大野重昭	眼科
94	厚生労働科学研究(特定疾患対策研究事業)ベーチェット病に関する研究平成18年度研究報告書:9-13,2007.	ゲノムワイドなマイクロサテライトによる相関解析を用いたベーチェット病の感受性遺伝子の検索に関する研究	猪子英俊	眼科
95	厚生労働科学研究(特定疾患対策研究事業)ベーチェット病に関する研究平成18年度研究報告書:15-19,2007.	PCR-Luminex法を用いた日本人ベーチェット病患者における症状別HLA遺伝子解析に関する研究	水木信久	眼科
96	厚生労働科学研究(特定疾患対策研究事業)ベーチェット病に関する研究平成18年度研究報告書:21-26,2007.	ベーチェット病の病態における末梢血NK細胞の機能解析	桑名正隆	眼科
97	厚生労働科学研究(特定疾患対策研究事業)ベーチェット病に関する研究平成18年度研究報告書:71-74,2007.	ベーチェット病に対するシクロスポリン治療効果と遺伝子多型	太田正穂	眼科
98	Acta Otolaryngol	Concurrent chemoradiotherapy with cyclophosphamide, pirarubicin, and cisplatin for patients with locally advanced salivary gland carcinoma.	Tsukuda M	耳鼻いんこう科
99	J Laryngol Otol	Concurrent chemoradiotherapy with carboplatin and uracil-ftegafur in patients with stage two (T2 NO MO) squamous cell carcinoma of the glottic larynx.	Taguchi T	耳鼻いんこう科
100	Acta Otolaryngol	Concurrent chemoradiotherapy with cisplatin, 5-fluorouracil, methotrexate, and leucovorin in patients with advanced resectable squamous cell carcinoma of the larynx and hypopharynx.	Taguchi T	耳鼻いんこう科
101	Oncol Rep	Antitumor effects of IDN5109 on head and neck squamous cell carcinoma.	Sano D	耳鼻いんこう科
102	© 2006 IGCS, International Journal of Gynecological Cancer 16, PP. 1094-1100	The role of pretreatment squamous cell carcinoma antigen level in locally advanced squamous cell carcinoma of the uterine cervix treated by radiotherapy.	Ogino I	放射線科
103	Jpn. J. Hyperthermic Oncol., 22(3): 151-158, 2006	Hyperthermia combined with chemoradiotherapy for treatment of locally advanced head and neck cancer with bulky lymph node metastasis.	Itazawa T	放射線科
104	J Comput Assist Tomogr, 30(4):642-645, 2006	Right double inferior vena cava: Report of 5 cases and literature review	Nagashima T	放射線科
105	Cancer Sci, 97 (10):996-1001, 2006	Development of an Orthotopic Transplantation Model in Nude Mice that Simulates the Clinical Features of Human Lung Cancer.	Kang Y	放射線科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
106	Annual Meeting of the Radiological Society of North America 2006.	Volume of honeycomb lung on baseline thin-section CT correlates with prognosis of patients with idiopathic pulmonary fibrosis.	Iwasawa T	放射線科
107	Magn Reson Imaging, 24 (1):97-101,2006	Optimizing T2-weighted magnetic resonance sequences for surface coil microimaging of the eye with regard to lid, eyeball and head moving artifacts.	Obata T	放射線科
108	Int J Radiat Oncol Biol Phys, 64(5): 1371-1379, 2006	Proton beam therapy for invasive bladder cancer: a prospective study of bladder-preserving therapy with combined radiotherapy and intra-arterial chemotherapy.	Hata M	放射線科
109	Cancer, 107(3): 591-598, 2006	Proton beam therapy for hepatocellular carcinoma with limited treatment options.	Hata M	放射線科
110	Strahlenther Onkol, 182(12): 713-720, 2006	Proton beam therapy for hepatocellular carcinoma patients with severe cirrhosis.	Hata M	放射線科
111	Annals of Nuclear Medicine, Vol. 21, No. 2, 93-99, 2007	Clinical evaluation of the effect of attenuation correction technique on 18F-fluoride PET images.	Tayama Y	放射線科
112	日本口腔診断学会雑誌	透視下に除去した下顎管内異物の1例	岩井俊憲 他	口腔外科
113	日本口腔診断学会雑誌	上顎洞内迷入歯摘出術に対するナビゲーションシステムの使用経験	岩井俊憲 他	口腔外科
114	CLEFT PALATE-CRANIOFACIAL Journal	Factor Influencing Secondary Alveolar Bone Grafting in Cleft Lip and Palate Patients:Prospective Analysis Using CT Image Analyzer.	小澤知倫 他	口腔外科
115	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod	Salivary duct carcinoma in the mandible: a case report	廣田 誠 他	口腔外科
116	日本口腔外科学会雑誌	歯槽膿瘍に対する炭酸ガスレーザー放射後に生じた顔面・頸部・縦隔気腫の1例	松井義郎 他	口腔外科
117	J.J.O.M.S.	高IgE症候群患者の抜歯に対する周術期管理の1例	筑丸 寛 他	口腔外科
118	日本口腔外科学会雑誌	下顎頭部骨折時の小骨片が下顎切痕部に癒着して拘縮症を生じた小児の1例	松井義郎 他	口腔外科
119	Oral & Maxillofacial Surgery	Alveolar Bone Graft for Patients With Cleft Lip/Palate Using Bone Particles and Titanium Mesh:A Quantitative Study .	松井義郎 他	口腔外科
120	日本口腔腫瘍学会誌	舌口底癌切除後再建患者の術後機能に関する主観評価	松井義郎 他	口腔外科
121	Oral & Maxillofacial Surgery	Factors influencing postoperative speech function of tongue cancer patients following reconstruction with fasciocutaneous/myocutaneous flaps-a multicenter study	松井義郎 他	口腔外科
122	頭頸部癌	口腔癌に対する浅側頭動脈よりの超選択的動注法(HFT法)を用いた連日同時放射線化学療法	藤内 祝 他	口腔外科
123	Cranio Cleft Palate J	Long-Term Study of Dental Implants Placed Into Alveolar Cleft Sites	松井義郎 他	口腔外科
124	日本歯科麻酔学会雑誌	抗リン脂質抗体症候群を合併した顎変形症患者の全身麻酔経験	岩井俊憲 他	口腔外科
125	Acta Anaesth Scand	Propofol formulated with long-/medium-chain triglycerides reduces the pain of injection by target controlled infusion.	H.Suzuki	麻酔科
126	J Anesth	Pre-anesthetic evaluation can play a crucial role in the determination of airway management in a child with oropharyngeal tumor.	Yoshihiro Aoi	麻酔科
127	Neuroscience	Effects of Barbiturates on ATP-sensitive K channels in rat substantia nigra.	T Ohtsuka	麻酔科
128	日本手術医学会誌	間欠的空気マッサージ器の術後使用期間と離床時期の追跡調査	菊地龍明	麻酔科
129	Yokohama Medical Journal	Factors inducing tracheal interbation and mechanical ventilation in acute-stage patients with cervical spinal cord injury.	Masayuki Iwashita	麻酔科
130	Yokohama Medical Journal	Modulation of neuronal ATP-sensitive K channels by A1 adnosine receptor-mediated signalling in rat substantia nigra.	Noriyuki Echigo	麻酔科
131	J Cell Cci	ER stress disrupts Ca2+-singaling complexes and Ca2+ regulation in secretory and muscle cells from PERK-knockout mice.	Huang G	麻酔科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
132	Cancer Sci, 97(5): 400-405, 2006.	Detection of germline deletions using real-time quantitative polymerase chain reaction in Japanese patients with von Hippel-Lindau disease.	Hattori K, Teranishi J, Stolle C, Yoshida M, Kondo K, Kishida T, Kanno H, Baba M, Kubota Y, Yao M	脳神経外科
133	Surg Neurol, 66:534-538, 2006.	Benign osteoblastoma of the temporal bone: case report and review of the literature.	Shimizu N, Sakata K, Yamamoto I	脳神経外科
134	Cell Tissue Res, 325(1): 189-195, Epub2006.	Ohno S, Hirai S: Developmental changes in the expression pattern of the JNK activator kinase MUK/DLK/ZPK and active JNK in the mouse cerebellum.	Suenaga J, Cui de F, Yamamoto I	脳神経外科
135	J Physiol, 571(Pt 2): 349-359, 2006.	2+-activated K+ channels in human melanoma cells are up-regulated by hypoxia involving hypoxia-inducible factor-1alpha and the von Hippel-Lindau protein.	Tajima N, Schonherr K, Niedling S, Kaatz M, Kanno H, Schonherr R, Heinemann SH	脳神経外科
136	Neuro-Oncology, 16(1):23-25, 2006.	Oligodendrogial tumor に対する PAV 療法の治療成績.	菅野 洋他	脳神経外科
137	難病と在宅ケア, 11(10):49-53, 2006.	幹細胞からドーパミンを分泌する神経細胞への分化誘導～細胞移植療法の確立を目指して.	菅野 洋	脳神経外科
138	機能的神経外科, 45(2):159-163, 2006.	日本人標本脳を用いた大脳基底核の立体イメージをもとに作成した冠状断面像の活用.	川崎 隆	脳神経外科
139	Clinical Neuroscience, 24(12):1367-1369, 2006.	頭蓋底脊索腫の治療戦略	坂田勝巳 他	脳神経外科
140	脳と神経, 58(8):687-692, 2006.	Phenobarbital によって誘発された Complex Regional Pain Syndrome Type I.	田邊 豊	脳神経外科
141	小児感染免疫 129, 2006.	BCG接種の法的変更と小児期の結核対策～小児期の結核診断法の進歩	森 雅亮	小児科
142	小児臨床薬理学会誌 19:139-142, 2006.	リウマチ性疾患へのメトトレキサート(MTX), 抗TNF製剤.	森 雅亮	小児科
143	臨床リウマチ 18:191-196, 2006.	難治性若年性特発性関節炎に対する生物学的製剤.	森 雅亮, 今川智之, 黒澤るみ子, 横田俊平	小児科
144	小児科診療 69:1005-1010, 2006.	川崎病-川崎病を総合的に科学する-急性期管理: γ-グロブリン不応例に対する血漿交換療法	森 雅亮	小児科
145	小児内科 38:595-598, 2006	特集:園医、学校医の実践Q&A IV. 健康診断《結核健診》Q 56【問診票だけの結核健診の有用性】	森 雅亮	小児科
146	産婦人科の実際 55: 355-362, 2006.	周産期感染症ハンドブック-周産期感染症各論 結核.	森 雅亮 他	小児科
147	小児科診療 69(増刊号):310-312, 2006.	混合性結合組織病. 小児の治療指針.	森 雅亮	小児科
148	小児内科(増刊号) 38: 278-279, 2006.	アレルギー性疾患、自己免疫・リウマチ性疾患(膠原病)-混合性結合組織病. 小児疾患の診断治療基	森 雅亮	小児科
149	小児内科(増刊号) 38: 362-363, 2006.	感染症-真菌感染症. 小児疾患の診断治療基準.	森 雅亮	小児科
150	小児感染免疫 18:231-238, 2006	川崎病治療における段階的治療戦略の有効性と免疫グロブリン大量療法不応例予測スコアシステム	佐藤厚夫, 森 雅亮, 横田俊平, 船曳哲典	小児科
151	小児科臨床(0021-518X)59巻3号 Page385-393(2006.03)	小児の膠原病・リウマチ性疾患の診断・治療 最近の進歩	横田俊平	小児科
152	診断と治療(0370-999X)94巻7号	小児の関節痛, 筋肉痛のみかた	横田俊平	小児科
153	Pharma Medica(0289-5803)24巻6号 Page53-57(2006.06)	小児期の線維筋痛症	横田俊平	小児科
154	感染防止(1340-9921)16巻4号 Page1-3(2006.07)	インフルエンザ脳症 病態と診断・治療	横田俊平	小児科
155	リウマチ科(0915-227X)35巻5号 Page498-502(2006.05)	若年性特発性関節炎と生物学的製剤	今川智之, 森雅亮, 横田俊平	小児科
156	日本臨床免疫学会会誌(0911-4300)29 巻 3 号 Page154-159(2006.06)	ループス膀胱炎を合併した小児期発症全身性エリテマトーデスの一例	黒澤るみ子, 宮前多佳子, 今川智之, 片倉茂樹, 森雅亮, 相原雄幸, 横田俊平	小児科
157	小児内科(0385-6305)38巻4号 Page755-758(2006.04)	マスターしておくべく専門的診察技術 臓器別診察法とピットホール	横田俊平	小児科
158	小児科診療(0386-9806)69巻増刊 Page166-167(2006.04)	感染症 非結核性抗酸菌症	横田俊平	小児科
159	日本小児科学会雑誌(0001-6543)110巻3号 Page398-405(2006.03)	小児期発症全身性エリテマトーデス38例の臨床的特徴と診断における問題点	黒澤るみ子, 梅林宏明, 今川智之, 片倉茂樹, 森雅亮, 満田年宏, 相原雄幸, 横田俊平	小児科
160	小児内科(0385-6305)38巻2号 Page323-328(2006.02)	意識障害の治療と管理 意識障害に関する知識 サイトカイン遮断療法の実際	梅林宏明, 黒澤るみ子, 中島章子, 今川智之, 片倉茂樹, 森雅亮, 満田年宏, 相原雄幸, 横田俊平	小児科
161	Neonatal Care(1341-4577)19巻1号 Page47-50(2006.01)	適応 抗ウイルス剤 アシクロビル ホスカルネット ガンシクロビル	横田俊平	小児科
162	日本小児感染症学会編: 日常診療に役立つ小児感染症マニュアル2007 改訂第2版. pp 487-505, 東京医学社, 2006.	真菌感染症. アスペルギルス, クリプトコッカス, カンジダ	森 雅亮	小児科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
163	河野 茂編:深在性真菌症Q&A. pp 105-108. 医薬ジャーナル社2006.	小児における真菌症治療の特徴は?	森 雅亮	小児科
164	衛藤義勝編:PBLに基づく小児科学症例テキスト. pp 103, pp 114-118, エルゼビアジャパン,2006	おむつかぶれを呈する3カ月の女児. 結核に曝露された家族の4人の子どもへの対応	森 雅亮	小児科
165	加藤忠明編:新しい小児慢性特定疾患治療研究事業に基づく小児慢性疾患診療マニュアル. Pp 333-338, 診断と治療社, 2006.	膠原病ー全身性エリテマトーデス	森 雅亮	小児科
166	五十嵐 隆編:小児科診療ガイドラインー最新の診療指針ー. pp 67-70. 総合医学社, 2006	結核	森 雅亮	小児科
167	J Immunol. 177: 4758-4762	Follistatin-like protein-1 is a novel proinflammatory molecule.	Miyamae T, Marinov AD, Sowders D, Wilson DC, Devlin J, Boudreau R, Robbins P, and Hirsch R	小児科
168	小児がん43巻2号 Page171-179(2006.09)	小児悪性固形腫瘍におけるFDG-PETの有用性	石田周, 後藤裕明, 黒木文子, 藤井久紀, 山崎桜子, 松田基, 藤岡憲一郎, 後藤晶子, 高橋浩之, 甲斐純夫, 船曳哲典, 生田孝一郎, 横田俊平, 岡卓志, 高橋延和	小児科
169	ModPathol.2006Jun;19(6):820-31.	Prognostic significance of dysadherin expression in epithelioid sarcoma and its diagnostic utility in distinguishing epithelioid sarcoma from malignant rhabdoid tumor.	Izumi T, Oda Y, Hasegawa T, Nakanishi Y, Iwasaki H, Sonobe H, Goto H, Kusakabe H, Takahira T, Kobayashi C, Kawaguchi K, Saito T, Yamamoto H, Tamiya S, Iwamoto Y, Tsuneyoshi	小児科
170	臨床血液47巻7号 Page639-644(2006.07)	骨髓移植後に再発した急性リンパ性白血病に対する同一ドナーからのRISTレジメンによる末梢血幹細胞移植	黒木文子, 後藤裕明, 柳町昌克, 梶原良介, 藤井久紀, 山崎桜子, 高橋浩之, 生田孝一郎, 横田俊平	小児科
171	臨床血液47巻8号 Page764-769(2006.08)	自然消退を繰り返すaleukemic leukemia cutisを認めた急性単球性白血病の女児	梶原良介, 後藤裕明, 柳町昌克, 黒木文子, 藤井久紀, 高橋浩之, 横田俊平	小児科
172	American Journal of Medical Genetics Part A 140A 1719-1725. 2006	Comprehensive Genetic Analysis of Relevant Four Genes in 49 Patients With Marfan Syndrome or Marfan-Related Phenotypes.	Sakai H, Visser R, Ikegawa S, Ito E, Numabe H, Watanabe Y, Mikami H, Kondoh T, Kitoh H, Sugiyama R, Okamoto N, Ogata T, Fodde R, Mizuno S, Takamura K, Egashira M, Sasaki N, Watanabe S, Nishimaki S, Takada F, Nagai T, Okada Y, Aoka Y, Yasuda K, Iwasa M, Kogaki S, Harada N, Mizuguchi T, Matsumoto N.	小児科
173	横浜医学. 57. 143-148. 2006	平成18年度採用臨床研修医オリエンテーション概要報告	青木昭子, 西巻 滋, 渡会伸治, 古川政樹, 長谷川修, 鈴木範行, 原 正道, 杉山 貢, 後藤英司	小児科
174	日本周産期・新生児医学会雑誌. 42. 12-16. 2006	早産児の疾患における胎内での侵襲応答と有核赤血球動態	島 義雄, 西巻 滋, 中島瑞恵, 新藤史子, 布山裕一	小児科
175	日本周産期・新生児医学会雑誌. 42. 577-581. 2006	Fetal Inflammatory Response Syndrome(FIRS)関連疾患と標的臓器	島 義雄, 西巻 滋, 中島瑞恵, 新藤史子	小児科
176	日本SIDS学会雑誌. 6. 3-7. 2006	短期入院の後に亡くなった児の家族への精神的サポートの検討(第2報)	西巻 滋	小児科
177	J Clin Invest 116 (11): 3026-3034, 2006.	Chronic activation of the prostaglandin receptor EP4 promotes hyaluronan-mediated neointimal formation in the ductus arteriosus	Yokoyama U, Minamisawa S (correspondence), Hong Q, Ghatak S, Toru Akaike, Segi-Nishida E, Iwasaki S, Iwamoto M, Misra S, Tamura K, Hori H, Yokota S, Toole BP, Sugimoto Y, Ishikawa Y	小児循環器
178	Am J Physiol Heart Circ Physiol 290 (4):H1660-70, 2006.	Multiple transcripts of Ca ²⁺ channel subunits and a novel spliced variant of a1C subunit in the rat ductus arteriosus.	Yokoyama U, Minamisawa S (correspondence), Adachi-Akahane S, Akaike T, Naguro I, Funakoshi K, Iwamoto M, Nakagone M, Uemura N, Hori H, Yokota S, Ishikawa Y	小児循環器
179	FEBS letters 580 (9): 2247-2252, 2006.	Post-transcriptional down-regulation of sarcolipin mRNA by triiodothyronine in the atrial myocardium.	Minamisawa S(correspondence), Uemura N, Sato Y, Yokoyama U, Yamaguchi T, Inoue K, Nakagone M, Hori H, Shimizu M, Mochizuki S, Ishikawa Y	小児循環器
180	Clin Calcium 16(1):37-44, 2006	Sarcoplasmic reticulum function and heart failure: a novel therapeutic target for heart failure.	Minamisawa S, Ikeda Y	小児循環器
181	International Journal of Cardiology 106; 373-381, 2006	Risk factors for arrhythmia and late death in patients with right ventricle to pulmonary artery conduit repair-Japanese multicenter study.	Shigeru Tateno, Niwa K, Nakazawa M, Iwamoto M, Yokota M, Nagashima M, Echigo S, Kado H, Shima M, Gatzoulis MA	小児循環器
182	日本小児循環器学会誌 第22巻1号35-53, 2006	二次性QT延長「QT延長症候群の管理基準に関する研究」委員会	吉永正夫, 長嶋正實, 新村一郎, 柴田利満, 岩本眞理 他	小児循環器

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
183	Cell Tissue Res, 326:787-93, 2006.	Comparison of cellular response in bovine intervertebral disc cells and articular chondrocytes: effects of lipopolysaccharide on Proteoglycan Metabolism.	Aota Y 他	整形外科
184	Case illustration. J Neurosurgery (Spine), 554:2006.	Vertebral artery injury in C-1 lateral mass screw fixation.	Aota Y 他	整形外科
185	APLAR Journal of Rheumatology, 9:56-59, 2006.	Sex preference of ankylosis in collagen-induced arthritis in B10. RIII mice.	Ito J 他	整形外科
186	ARTHRITIS & RHEUMATISM, 54(4):1132-1142,2006.	Regulatory Role of Heme Oxygenase 1 in Inflammation of Rheumatoid Arthritis.	Saito T 他	整形外科
187	Arthritis Research and Therapy, 8:R175, 2006	Identification of Novel Citrullinated Autoantigens of Synovium In Rheumatoid Arthritis by Proteomic Approach.	Saito T 他	整形外科
188	Arthritis & Rheumatism, 54 (6):	Effects of vibration and hyaluronic acid on activation of three-dimensional cultured chondrocytes.	Saito T 他	整形外科
189	Spine Case Report. Vol 14. Stryker Spine 2006.	転移性脊椎腫瘍に対する頸椎再建術	青田洋一 他	整形外科
190	日本人工関節学会誌, 36:326-	関節リウマチの高度破壊肘に対する人工肘関節置換術の成績	荒武正人 他	整形外科
191	Hip Joint: 402-406, 2006	Morselized bone allograftとroof reinforcement ringを用いた臼蓋側人工股関節再置換術の成績	荒武正人 他	整形外科
192	日本小児整形外科学会雑誌. 16: 95-99, 2006	受傷後7年で滑車骨壊死と遊離体を発症した上腕骨遠位端骨折の1例	荒武正人 他	整形外科
193	関東リウマチ. 2: 156-161, 2006.	関節リウマチに対する人工膝関節置換術後の短期血液生化学検査の変化と薬剤コントロールについて	荒武正人 他	整形外科
194	リウマチ科, 36(4):381-385, 2006	PETによる関節炎の評価	荒武正人 他	整形外科
195	関東学院大学工学総合研究所報. 34: 17-23. 2006	腰痛防止用CPM装置の開発(その2)	飯塚晴彦 他	整形外科
196	日本リウマチ・関節外科学会雑誌 25, 31-36, 2006	関節リウマチ患者における人工膝関節全置換術のクリティカルパス	石井克志 他	整形外科
197	Hip-Joint' 06, 32:517-521, 2006	F-scanを用いた人工股関節置換術前後の足底圧分析	石井克志 他	整形外科
198	日関外誌, 25:31-36, 2006.	関節リウマチ患者における人工膝関節全置換術のクリティカルパス	石井克志 他	整形外科
199	日本腰痛学会誌12:156-161, 2006	腰椎椎間関節嚢腫に対する椎間関節穿刺による吸引治療の効果	石井耕士 他	整形外科
200	日本臨床スポーツ医学会誌, 14: 143-155, 2006	スポーツと変形性膝関節症及びその手術	腰野富久	整形外科
201	神奈川県医師会健康スポーツ医部会報, 9: 10-24, 2006	中高年における関節軟骨の摩耗とスポーツ〜とくに変形性膝関節症に対する治療〜	腰野富久	整形外科
202	Hip Joint 32: 632-635, 2006	変形性股関節症の立位と臥位の両股正面X線像における臼蓋および設置カップの前方開角の変化と腰痛	佐藤雅経 他	整形外科
203	東日本震災学会誌, 18: 96-100, 2006	FDG-PETによる脂肪性腫瘍の悪性度評価	高橋 晃 他	整形外科
204	関節外科, 25(3): 337-341, 2007	画像ワークショップPitfall Q&AとNormal Variant膝	高橋 晃 他	整形外科
205	整形・災害外科, 49[1]: 67-75, 2006	救命救急センターにおける救急車内からの医療情報伝送に関するアンケート調査	竹内良平 他	整形外科
206	整形・災害外科, 49(2): 173-179, 2006	救急医療現場のシームレス無線通信環境での医療システムの研究開発とその実証実験	竹内良平 他	整形外科
207	整形・災害外科, 49(2): 1035-1041, 2006	ブロードバンド無線ネットワークを活用した遠隔操作エコーロボットと高精細動画伝送の実証実験	竹内良平 他	整形外科
208	整形・災害外科, 49(10): 1073-1079, 2006	高位脛骨骨切り術後の関節軟骨の再生	竹内良平 他	整形外科
209	日本人工関節学会誌, 36: 238-239, 2006	人工膝関節全置換術におけるターニケット使用群と非使用群での深部静脈血栓症の発症率の検討	長岡亜紀子 他	整形外科
210	整形外科, 57:562-565, 2006	Morton病を初発とした関節リウマチの1例	松尾光祐 他	整形外科
211	神奈川県整形災害外科研究会雑誌, 18(5): 137-140, 2005	足底部に発生した悪性顆粒細胞腫の1例	松本里沙 他	整形外科
212	関東震災誌, 37(4): 131-137, 2006	趾間開大を生じ軟部腫瘍を疑った関節リウマチの2例	山口 優 他	整形外科
213	Am J Med Genet Part A, 140A: 1177-1182, 2006.	Pregnancy outcome of fetuses with Trisomy 18 identified by prenatal sonography and chromosomal analysis in a perinatal center.	Yamanaka M, Setoyama T, Igarashi Y, Kurosawa K, Itani Y, Hashimoto S, Saitoh K, Takei M, Hirabuki T	産婦人科
214	Int. J. Gynecol. Cancer, 16 (Suppl): 640, 2006	Effective proteomic analysis of human ovarian cancer cells to find specific proteins in clear cell adenocarcinoma.	Miyagi E, Sukegawa A, Yokota N, Sato M, Numazaki R, Saji H, Sugiura K, Hirahara F, Morita A, Hirano H	産婦人科
215	Endocr Journal, 53: 555-562, 2006.	Hypoadiponectinemia in lean lactating women: Prolactin inhibits adiponectin secretion from human adipocytes.	Asai-Sato M, Okamoto M, Endo M, Yoshida H, Murase M, Ikeda M, Sakakibara H, Takahashi T, Hirahara F	産婦人科
216	International Journal of Clinical Oncology, 11(3): 221-228, 2006.	Historical control study of paclitaxel-carboplatin (TJ) versus conventional platinum-based chemotherapy (CAP) for epithelial ovarian cancer.	Numazaki R, Miyagi E, Onose R, Nakazawa T, Sugiura K, Asukai K, Nakayama H, Miyamatsu A, Okamoto N, Hirahara F:	産婦人科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
217	The Journal of Obstetrics and Gynecology Research, 32(3): 349-353, 2006.	Post-traumatic stress disorder in patients with gynecologic cancers.	Sukegawa A, Miyagi E, Suzuki R, Ogasawara T, Asai-Sato M, Yoshida H, Sugiura K, Nakazawa T, Onose R, Onishi H, Hirahara F	産婦人科
218	Placenta, 28(2-3): 224-232, 2006.	Paradoxical discrepancy between the serum level and the placental intensity of PP5/TFPI-2 in preeclampsia and/or intrauterine growth restriction: possible interaction and correlation with glypican-3 hold the key.	Ogawa M, Yanoma S, Nagashima Y, Okamoto N, Ishikawa H, Haruki A, Miyagi E, Takahashi T, Hirahara F, Miyagi Y	産婦人科
219	Reproductive Medicine and Biology, 5(1): 59-64, 2006	Laparoscopy for the treatment of unexplained infertility.	Kanda Y, Ikeda M, Ishikawa M, Sakakibara H, Hirahara F	産婦人科
220	J Bone Miner Res, 20: S305, 2006.	Prevention of osteoporosis is important after gynecological cancer treatment in young women.	Kurasawa K, Chaki O, Yamaki J, Kikuchi R, Hirahara F	産婦人科
221	Journal of Human Genetics, 51(5): 477-479, 2006	Complete hydatidiform mole and normal live birth following intracytoplasmic sperm injection.	Hamanoue H, Umezumi N, Okuda M, Harada N, Ohata T, Saji H, Mizuguchi T, Ishikawa H, Takahashi T, Miura K, Hirahara F, Matsumoto N	産婦人科
222	Cancer Res, 66(19): 9453-9460, 2006	Activation of cancer cell migration and invasion by ectopic synthesis of coagulation factor VII.	Koizumi S, Jin MS, Miyagi E, Hirahara F, Nakamura Y, Piao JH, Asai A, Yoshida A, Tsuchiya E, Ruf W, Miyagi Y	産婦人科
223	Am J Med Genet Part A, 140(16): 1737-1743, 2006.	Origin and mechanisms of formation of fetus-in-fetu: two cases with genotype and methylation analyses.	Miura S, Miura K, Yamamoto T, Yamanaka M, Saito K, Hirabuki T, Kurosawa K, Harada N, Ishizaki-Yamasaki Y, Matsumoto N, Hirahara F, Yoshiura K, Masuzaki H,	産婦人科
224	Proteomics, 6: 5880-5890, 2006.	Proteomic search for potential diagnostic markers and therapeutic targets for ovarian clear cell adenocarcinoma.	Morita A, Miyagi E, Yasumitsu E, Kawasaki H, Hirano H, Hirahara F	産婦人科
225	Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 32(4): 387-395, 2006	Ovarian carcinomas with neuroendocrine differentiation: Review of five cases referring to immunohistochemical characterization.	Yasuda M, Kajiwara H, Osamura R.Y, Hirasawa T, Muramatsu T, Murakami M, Takagi M, Tadokoro M, Kobayashi Y, Inayama Y, Miyagi E, Nakatani Y	産婦人科
226	Am J Med Genet, 140A: 88-91, 2006	A large interstitial deletion of 17p11.2-13.1 including Smith-Magenis region in a patient with congenital multiple anomalies.	Yamamoto T, Kurosawa K, Ueda H, Kawataki M, Yamanaka M, Asou T	産婦人科
227	日産婦誌, 58(9): 1519-1526, 2006.	妊娠女性・若年女性における葉酸栄養状況とその効果に関する研究	石川浩史	産婦人科
228	日産婦神奈川会誌, 42: 152-153, 2006.	当センターにおける産褥風疹ワクチンの実施状況	奥田美加, 石川浩史, 春木 篤, 高橋恒男, 遠藤方哉, 平原史樹	産婦人科
229	病原微生物検出情報314号, 27(4): 96-97, 2006	風疹罹患の可能性をもつ妊娠女性への適切な対応に関する研究・産褥期風疹ワクチン接種に関する検討	奥田美加, 平原史樹	産婦人科
230	日本臨床細胞学会神奈川支部会誌, 11(1): 46-50, 2006	術前細胞診で組織型の推定が困難であった混合型子宮頸部神経内分泌腫瘍の1例	佐藤美紀子, 井畑 謙, 稲山嘉明, 北村和久, 佐治晴哉, 杉浦 賢, 宮城悦子, 平原史樹	産婦人科
231	産婦人科の世界, 58(12): 83-89, 2006.	緩和ケア。婦人科医による緩和ケアの実際; 緩和ケアへの移行に苦慮した症例を通して。特集 婦人科がん治療周辺領域の進歩	助川明子, 宮城悦子, 上杉奈々, 杉浦 賢, 平原史樹	産婦人科
232	日産婦関東連合会報, 43: 389-393, 2006	塩酸リドリンによる発熱性の副作用を示した抗SS-A抗体陽性妊婦の1例	斉藤圭介, 佐藤 綾, 長瀬寛美, 鈴木理絵, 橋本 栄, 平吹知雄, 山中美智子	産婦人科
233	産婦人科の実際, 55: 1149-1152, 2006	子宮外妊娠に対する自然治癒待機療法についての検討	高島邦僚, 石川雅彦, 榎原秀也, 平原史樹	産婦人科
234	医学と薬学, 55(2): 279-285, 2006	全自動化学発光酵素免疫測定装置Accessを用いた血中骨型アルカリフォスファターゼの検討	倉澤健太郎, 茶木 修, 平原史樹	産婦人科
235	Osteoporosis Japan, 14: 507-511, 2006	塩酸ロキシフェンの効果判定には骨代謝マーカーが有用である	倉澤健太郎, 葉山智工, 野村可之, 望月久美, 善方裕美, 荒田与志子, 菊池律子, 茶木 修, 平原史樹	産婦人科
236	日本産科婦人科学会神奈川地方部会会誌, 42(2): 131-136, 2006	胎児期から腫瘍性病変が認められた神経芽腫の2例	武井美城, 勝俣祐介, 瀬戸山琢也, 橋本 栄, 平吹知雄, 奥田美加, 山中美智子	産婦人科
237	産婦人科の実際, 55(8): 1271-1275, 2006	75g糖負荷試験にて一点のみ陽性を示す妊婦の周産期予後に関する検討—健常妊婦との比較—	浜之上はるか, 春木 篤, 奥田美加, 石川浩史, 高橋恒男, 平原史樹	産婦人科
238	医学のあゆみ, 217(7): 793-794, 2006	Marfan 症候群におけるTGFB2遺伝子変異	浜之上はるか, 松本直通	産婦人科
239	日産婦関東連合会報, 43: 71-76, 2006	障害者医療施設より紹介された2症例～腹腔結石と造影転後自然離断し腹腔内を移動した卵巣嚢腫～	佐藤 綾, 石川雅彦, 細川真理子, 高島邦僚, 奥田美加, 杉浦 賢, 宮城悦子, 榎原秀也, 平原史樹	産婦人科
240	Osteoporosis Japan, 14: 465-467, 2006	婦人科悪性腫瘍治療を行った若年者に対する骨粗鬆症予防と治療	野村可之, 倉澤健太郎, 葉山智工, 善方裕美, 菊池律子, 望月久美, 荒田与志子, 宮城悦子, 茶木 修, 平原史樹	産婦人科
241	日本産科婦人科学会神奈川地方部会会誌, 42(2): 38-40, 2006	"著明な腹水を認めた結核性胸膜炎の1例"	片山佳代, 小山麻希子, 野村可之, 鈴木理絵, 佐治正彦, 高安義弘	産婦人科
242	日本産科婦人科学会神奈川地方部会会誌, 42: 145-147, 2006	子宮摘出が有効であった比較的高齢女性に認めた侵入奇胎の1症例	葉山智工, 倉澤健太郎, 井畑 謙, 横田奈朋, 神田 義明, 佐治晴哉, 吉田 浩, 佐藤美紀子, 杉浦 賢, 宮城悦子, 平原史樹	産婦人科
243	Osteoporosis Japan, 14: 231-235, 2006	新規血清骨代謝マーカーの臨床応用に関する委員会。新規骨代謝マーカーを用いた塩酸ロキシフェンの閉経後骨粗鬆症に対する効果判定の検討(中間報告)	西沢良記, 中村利孝, 白木正孝, 太田博明, 福永仁夫, 水沼英樹, 三木隆巳, 茶木 修, 萩野浩, 市村正一	産婦人科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
244	医学と薬学, 3:443-458, 2006	新規血中酒石酸抵抗性酸フォスファターゼ骨型アインザイム(TRACP-5b)測定キットオステオリンクス「TRAP-5b」の臨床的検討。骨粗鬆症に対するビスフォスフォネート治療における検討	三木隆己, 石井光一, 中 弘志, 正木秀樹, 市村正一, 望月善子, 茶木 修, 倉澤健太郎, 稲葉雅章, 西沢良記	産婦人科
245	Curr Pharmacogenomics 4: 113-119, 2006	Pharmacogenetic aspects of neuroleptic malignant syndrome.	Kawanishi C, Kishida I, Furuno T, Kato D, Bertilsson L	神経科
246	Neuropathology. 2006 Aug;26(4):293-7nnn	Vascular complications in dementia with Lewy bodies: a postmortem study.	Isojima D, Togo T, Kosaka K, Fujishiro H, Akatsu H, Katsuse O, Iritani S, Matsumoto T, Hirayasu Y.	神経科
247	Psychiatry Clin Neurosci. 2006 Oct;60(5):558-62	Knowledge and attitude towards suicide among medical students in Japan: preliminary study.	Sato R, Kawanishi C, Yamada T, Hasegawa H, Ikeda H, Kato D, Furuno T, Kishida I, Hirayasu Y	神経科
248	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 2006 Dec 11	Perospirone augmentation of paroxetine in treatment of refractory obsessive-compulsive disorder with depression.	Otsuka T, Togo T, Sugiyama N, Uehara K, Yoshimi A, Karashima A, Shioya H, Hirayasu Y	神経科
249	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 2006 Jul 31	Perospirone in treatment of Huntington's disease: A first case report.	Roppongi T, Togo T, Nakamura S, Asami T, Yoshimi A, Shiozaki K, Kato D, Kawanishi C, Hirayasu Y	神経科
250	Int J Neuropsychopharmacol 9:	Neuroleptic malignant syndrome induced by perospirone.	Nakagawa M, Matsumura T, Kato D, Kishida I, Kawanishi C, Tamura K, Hirayasu Y	神経科
251	Psychogeriatrics. 2006, 55-59	Features of elderly patients admitted to a general hospital psychiatric unit.	Furukawa Y, Odawara T, Yamada Y, Fujita J, Hirayasu Y	神経科
252	Psychopharmacol 20: 75-79, 2006	Early effects of olanzapine on serum levels of ghrelin, adiponectin and leptin in patients with schizophrenia.	Hosojima H, Togo T, Odawara T, Hasegawa K, Miura S, Kato Y, Kanai A, Kase A, Uchikado H, Hirayasu Y	神経科
253	Acta Neuropathol (Berl). 111:186-192, 2006	Coexistence of PSP and MSA: a case report and review of the literature.	Uchikado H, DelleDonne A, Uitti R, Dickson DW	神経科
254	J Neuropathol Exp Neurol, 65: 387-95, 2006	Lewy bodies in progressive supranuclear palsy represent an independent disease process.	Uchikado H, DelleDonne A, Ahmed Z, Dickson DW	神経科
255	J Neuropathol Exp Neurol, 65:685-97, 2006	Alzheimer Disease With Amygdala Lewy Bodies: A Distinct Form of alpha-Synucleinopathy	Uchikado H, Lin WL, Delucia MW, Dickson DW	神経科
256	Neuropathology. 26:417-21, 2006	Heterogeneous inclusions in neurofilament inclusion disease	Uchikado H, Li A, Lin WL, Dickson DW	神経科
257	J Neuropathol Exp Neurol, 65:1157-69, 2006.	Identification of G-protein coupled receptor kinase 2 in paired helical filaments and neurofibrillary tangles	Takahashi M, Uchikado H, Caprotti D, Weidenheim KM, Dickson DW, Ksiezak-Reding H, Pasinetti GM.	神経科
258	Neurosci Lett, in press, 2006	Neurofibrillary tangle-related synaptic alterations of spinal motor neurons of P301L tau transgenic mice.	Katsuse O, Lin WL, Lewis J, Hutton ML, Dickson DW	神経科
259	A case report. Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry 30 (2006) 1170-	Quetiapine-induced neuroleptic malignant syndrome in dementia with Lewy bodies	Kobayashi A, Kawanishi C, Matsumura T, Kato D, Furukawa R, Kishida I, Hirayasu Y	神経科
260	Palliat Support Care 4: 87-89, 2006	Brief psychotic disorder mimicking the symptoms of cerebrovascular attack evoked by symptoms that symbolized death in a patient with terminal stage stomach cancer: case report and review of the literature.	Onishi H, Okuno S, Yae S, Sairenji M, Onose M, Mizuno Y, Kawanishi C	神経科
261	Neurosci Lett 405: 29-33, 2006	Immunohistochemical investigation of neurofibrillary tangles and their tau isoforms in brains of limbic neurofibrillary tangle dementia.	Iseki E, Yamamoto R, Murayama N, Minegishi M, Togo T, Katsuse O, Kosaka K, Akiyama H, Tsuchiya K, de Silva R, Andrew L, Arai H	神経科
262	J Biol Chem 281: 4117-4125, 2006	The prolyl-isomerase Pin1 accumulates in the Lewy bodies of Parkinson's disease and facilitates the formation of alpha-synuclein inclusions.	Ryo A, Togo T, Nakai T, Yamaguchi A, Suzuki K, Perrem K, Hirayasu Y, Liou YC, Aoki I	神経科
263	Am J Psychiatry. 2006 Dec;163(12):2103-10	Middle and inferior temporal gyrus gray matter volume abnormalities in first-episode schizophrenia: an MRI study.	Kuroki N, Shenton ME, Salisbury DF, Hirayasu Y, Onitsuka T, Ersner H, Yurgelun-Todd D, Kikinis R, Jolesz FA, McGarvey Josephs KA, Katsuse O, Beccano-Kelly DA, Lin WL, Uitti RJ, Fujino Y, Boeve BF, Hutton ML, Baker MG, Dickson DW	神経科
264	J Neuropathol Exp Neurol 65: 396-405, 2006.	Atypical progressive supranuclear palsy with corticospinal tract degeneration.	Yamamoto R, Iseki E, Murayama N, Minegishi M, Marui W, Togo T, Katsuse O, Kato M, Iwatsubo T, Kosaka K, Arai H	神経科
265	J Neurol Sci 246: 95-101, 2006.	Investigation of Lewy pathology in the visual pathway of brains of dementia with Lewy bodies.	Yamamoto R, Iseki E, Murayama N, Minegishi M, Marui W, Togo T, Katsuse O, Kato M, Iwatsubo T, Kosaka K, Arai H	神経科
266	Acta Neuropathol (Berl). 111:510-8, 2006	Relative paucity of tau accumulation in the small areas with abundant Abeta42-positive capillary amyloid angiopathy within a given cortical region in the brain of patients with Alzheimer pathology.	Oshima K, Akiyama H, Tsuchiya K, Kondo H, Haga C, Shimomura Y, Iseki E, Uchikado H, Kato M, Niizato K, Arai H	神経科
267	精神医学 48, 2006, 975-980	新医師臨床研修制度に基づく精神科ローテーション研修の評価 精神科卒後研修一講座担当者の立場から	平安良雄, 佐藤玲子, 上原久美, 塩崎一昌, 河西千秋, 小田原俊成	神経科
268	臨床精神医学, 35, 260-266, 2006	精神科における症候・症候群の治療方針-自殺。今日の精神科治療指針2006。	平安良雄, 山田朋樹, 土井原千穂, 山田素朋子, 河西千秋	神経科
269	精神神経学雑誌, 108, 941-944	精神科専門医の養成研修はどうあるべきか 精神科専門医の生涯教育について 精神科専門医の生涯教育について 大学病院の立場から。	平安良雄	神経科
270	老年精神医学雑誌, 17: 1169-1176, 2006	レビー小体型認知症患者のクリニカルパス。	小田原俊成	神経科
271	神奈川県薬剤師会雑誌 薬査, 28, 3-4, 2006	うつ病の診断と治療。	河西千秋	神経科
272	自殺予防と危機介入, 27, 120-122, 2006	スウェーデン国立自殺予防・精神保健研究センター(NASP)と自殺予防研究マスター・コース。	河西千秋, 佐藤玲子	神経科
273	(財)三井生命厚生事業団 第37回医学研究助成 研究報告書, 21-23, 2006	自殺の精神医学的研究:自殺企図者の抑うつおよび生物学的背景因子の研究。	河西千秋, 平安良雄, 山田朋樹	神経科
274	精神科救急, 9: 116-123, 2006	精神科急性期治療における行動制限の測定および最小化について。	杉山直也	神経科
275	精神科救急, 9: 27-33, 2006	社会資源としての精神科救急-静岡県東部の精神科救急システム。	杉山直也	神経科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
276	精神神経誌, 108; 1066-1073, 2006	精神科救急の即応性と地域展開および機能分化と連携について.	杉山直也	神経科
277	精神医学, 48, 515-517, 2006	辺縁系神経原線維変化認知症の一部検例.	都甲 崇、勝瀬大海、磯島大輔、小阪憲司、平安良雄	神経科
278	心と社会 124 132-137 2006	救命救急センターの精神科医.	山田朋樹	神経科
279	看護技術 52 (14) 52-56 2006	救命救急センターにおける自殺企図者の医療と課題.	山田朋樹	神経科
280	臨床精神薬理9巻7号 Page1381-1390, 2006	Risperidone液剤の統合失調症慢性期症例に対する維持療法主剤としての可能性.	藤代潤, 大園啓子, 内田修二, 平安良雄, 竹内知夫	神経科
281	臨床精神薬理, 9(10) 2077-2083 (2006)	オランザピンにより症状悪化を未然に防ぎえた前駆期/発症ごく初期の統合失調症患者—ザイデス錠の使用感想も含めて—.	藤代 潤, 富田 悠生, 内田 修二, 竹内 知夫	神経科
282	精神科7巻5号 Page418-422, 2006	テラーメイド治療への薬理遺伝学研究的今後の方向性.	古野拓, 河西千秋, 平安良雄	神経科
283	精神科治療学, 21, 2006, 999-1006	統合失調症の栄養・運動管理プログラムに関する効果と問題点の検討—身体指標の評価と症例から—.	加藤大慈、藤田英美、杉山直也、河西千秋、平安良雄	神経科
284	治療88巻8号 Page2157-2161, 2006	薬物治療と心療内科テクニック 正しい抗精神病薬の使い方.	古荘竜, 平安良雄	神経科
285	精神科8巻4号 Page276-281, 2006	統合失調症のニューロイメージング.	浅見剛, 平安良雄	神経科
286	医薬ジャーナル, 42, 133-136, 2006	ライフサイクルとうつ病: 壮年期 -働き盛りのうつと自殺	佐藤玲子, 河西千秋	神経科
287	臨床精神薬理9巻6号 Page1199-1209, 2006	精神科救急にて入院した統合失調症患者の治療導入時の処方実態について.	大塚達以, 小田原俊成, 細島英樹, 加藤由以子, 山田朋樹, 平安良雄	神経科
288	精神医学48巻4号 Page435-438, 2006	MRIで右海馬に限局した病変を認めた非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の1例.	大塚達以, 都甲崇, 市川泰広, 千葉秀行, 上原久美, 辛島文, 塩崎一昌, 杉山直也, 平安良雄	神経科
289	精神医学, 48, 173-180, 2006	ロールシャッハテストからみたアトピー性皮膚炎患者の心理的特徴像.	二橋美那子, 境 玲子, 大西秀樹, 山田和夫, 小阪憲司, 石和万美子, 高橋一夫, 相原道子, 池澤善郎, 平安良雄	神経科
290	精神医学48: 828-837, 2006	進行性核上性麻痺の精神症状.	内門大文、都甲 崇、小阪憲司	神経科
291	精神医学, 48, 1025-1027, 2006	ペロスピロンの置き換えによって高プロラクチン血症が改善した統合失調症の1例.	勝瀬大海、都甲崇、小阪憲司、平安良雄	神経科
292	精神医学48巻6号 Page677-680, 2006	「インククリーナー」(1,4-ブタンジオール)の乱用により一過性の幻覚妄想と強度の不眠を呈した1例.	小林桜児, 松本俊彦, 大槻正樹, 遠藤桂子, 赤木正雄, 木村逸雄, 上條敦史, 平安良雄	神経科
293	精神科治療学, 21, 2006, 885-890	顔面の接触皮膚炎患者に対する精神医学的危機介入.	境 玲子、塩崎一昌、大西秀樹、山田和夫、平安良雄、相原道子、池澤善郎	神経科
294	神奈川精神医学会誌55号 Page53-57, 2006	発熱後に妄想状態を呈し、前頭部間欠・律動デルタ活動が認められた大麻使用者の1例.	野本宗孝, 小田原俊成, 山田康弘, 加藤由以子, 上原久美, 平安良雄	神経科
295	精神科9巻1号 Page99-103, 2006	てんかん治療中に亜昏迷状態となり統合失調症様症状を呈した広汎性発達障害の2例.	山口隆之、長谷川花、小田原俊成、 六本木知秀、浅見剛、川上博、平安良雄	神経科
296	神奈川精神医学会誌55号 Page15-22, 2006	横浜市立大学における学生のメンタルヘルスに関する研究(1) 修正型UPIからみた実態調査結果.	松井尚子, 近藤智津恵, 塩崎一昌, 山口亜希子, 松本俊彦, 平安良雄, 竹内直樹	神経科
297	神経内科65巻Suppl.4 Page367-373, 2006	事象関連電位検査 事象関連電位検査の臨床応用 臨覚性事象関連電位の臨床応用.	飯嶋隆, 大澤美貴雄, 平安良雄	神経科
298	患者安全推進ジャーナル, 13, 64-69, 2006	精神科領域における医療安全管理の検討 その1: 病院内における自殺に関するアンケート.	岩下覚, 南良武, 河西千秋	神経科
299	患者安全推進ジャーナル, 13; 70-77, 2006	行動制限(身体拘束と隔離)に関するアンケート. 精神科領域における医療安全管理の検討.	南良武, 杉山直也, 釜英介	神経科

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 今田 敏夫		
管理担当者氏名	総務課長 小谷 與志郎	医事課長 谷口 尚三	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医事課(病歴室)及び関係記録部課	病歴資料については、個々の患者ごとに作成・保管管理(1患者1カ所) 処方箋は薬剤部で管理 X線写真は病歴室で保管・管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課(病歴室)	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課(病歴室)	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
確規保則の第9条及び第11条各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	同上	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	同上	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	同上	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	同上	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	同上	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	同上	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	同上		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 今田 敏夫
閲覧担当者氏名	総務課長 小谷與志郎 、 医事課長 谷口 尚三
閲覧の求めに応じる場所	会議室 又は 閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	63.7%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	11,406人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	6,372人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	405人	
	D: 初診の患者の数	22,153人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (1) 名 ・ 活動の主な内容： ①事例対応、②インシデント報告の把握、③協議、④周知：安全管理対策委員会の運営、リスクマネージャー会議の運営、⑤教育：医療安全管理講演会、⑥研修会の企画運営 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： ①当院の医療安全の基本指針、体制と考え方、②有害事象発生時の初期対応マニュアル、③患者確認の基本、緊急時の応援要請、④タイムアウト、⑤薬剤、輸血、ME機器に関する事項 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 27回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： [資料別添] (内訳) 安全管理対策委員会 16回、リスクマネージャー会議 11回 (内容) 安全管理対策委員会 院内医療安全の方針を協議決定 リスクマネージャー会議 安全管理対策委員会の方針周知、分科会での院内医療安全の課題検討 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 32回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： [資料別添] ○医療安全に関する講演会、○新採用職員向け当院医療安全の基礎研修、○心肺蘇生AED研修、○人工呼吸器研修 ほか 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ○インシデント報告のオンライン化、○手術室で執刀前のタイムアウト実施、○処方オーダーリングの3文字入力、○がん化学療法審査評価委員会 他 	

4 横浜市立大学附属病院における安全管理に関する基本指針

平成 11 年 10 月 22 日 制定
平成 12 年 4 月 1 日 改定
平成 13 年 1 月 5 日 改定
平成 15 年 3 月 31 日 改定

医療は、本来、患者と医療従事者の信頼関係、ひいては医療に対する信頼の下で、患者の救命や健康回復を最優先として行われるべきものである。患者さまの安全確保の観点から事故の防止を図り再発防止対策を推進することは、高度な医療を提供する特定機能病院である当院としても、極めて重要な取り組みである。

このため、本指針は、横浜市立大学附属病院（以下「当院」という。）における医療安全管理に関する基本方針を定めるとともに、院内の責任体制を明確にし、医療安全管理の具体的な推進方策について定めることを目的とする。

【本院における医療安全管理の基本方針】

安全な医療を提供するためには、医療従事者一人ひとりが危機意識を持って日々の診療にあたることが不可欠ではあるが、近年の医療の高度化・複雑化等を背景に、医療従事者個人の努力に依存した医療安全管理は困難になってきている。このため、本院においては医療安全管理をシステムの問題として捉え、病院長、医療安全管理を統括する副病院長（統括安全管理者）、安全管理指導者、安全管理対策委員会を中心として有機的な体制を構築し、総合的質管理の一環として組織横断的に取り組む。

また、常により質の高い安全な医療提供体制を構築することを目指し、計画・実施・評価・改善の一連の過程において継続的な見直しを行うことにより、医療現場の状況の変化に適切かつ迅速に対応した医療安全管理を実施する。

さらに、医療安全管理に資する情報を本院の職員全体で共有し、組織における安全文化を醸成するため、発生した医療事故、インシデント事例の分析結果や、安全管理対策委員会等で検討・決定された事故予防対策等を速やかに職員にフィードバックするとともに、医療安全管理に関する職員の教育や啓発に努めるものとする。

2 安全管理対策委員会の活動状況

附属病院		
開催日	主な議題	
第1回	4月17日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成18年度 安全管理対策委員会 委員紹介 2 医療関連ニュース（3月23日～4月5日） 3 平成18年度 安全管理対策委員会 日程について 4 医療安全管理指針（2006年4月版）の改訂事項について 5 新採用および転入者向け医療安全研修の実施結果について 6 病棟薬剤保管状況の確認結果について 7 平成18年度 医療安全の主な取り組みについて
第2回	5月8日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース（4月6日～4月26日） 2 平成18年度 リスクマネジャー会議分科会のテーマについて 3 「医療安全管理の徹底」の通知について 4 事例検討
第3回	5月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1 病院就業者の免許確認について 2 「術中のビデオ撮影の要望書」について 3 医学部学生の実習同意書について 4 安全確保のための行動制限について 5 薬剤業務システム変更に伴う処方箋表記の変更について 6 注射用抗生物質などによるアナフィラキシーショックについて
第4回	6月12日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース（4月27日～5月24日） 2 第1回医療安全講演会開催について 3 ペグイントロンのオーダー画面の修正、払い出し時の注意紙の添付について 4 平成18年度 国公立大学附属病院リスクマネジャー研修について 5 平成18年度 関東信越管内特定機能病院連絡会議について 6 安全のための行動制限に関する説明書について 7 心肺蘇生+AED 研修の運営について 8 医療安全の啓発について 9 医療安全講演会 参加シールの交付について
第5回	7月10日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース（5月25日～6月21日） 2 「平成17年度 医療安全管理の取り組み」について 3 第1回 医療安全講演会（6月19日）の実施結果について 4 医療安全講演会参加者への参加マークの配布について 5 周術期肺血栓塞栓症対策マニュアルの一部追補、「手術・検査指示票」の改訂 6 医療安全に関する各種プロジェクトの位置づけと安全管理対策委員会要綱の改訂 7 第9回医療安全対策会議（厚生労働省）について 8 事例検討
第6回	7月24日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース（6月22日～7月12日） 2 第1回医療安全講演会ビデオ上映会について 3 医療安全病棟巡回実施状況について 4 医学部実習同意書について 5 事例検討
第7回	9月11日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース（7月13日～8月23日） 2 ポケット医療安全管理指針について 3 医療安全講演会開催予定について 4 グリセリン浣腸について 5 自動対外式除細動器 ガイドライン2005対応機能への更新について 6 事例検討

第8回	10月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース (8月24日～9月20日) 2 医薬品・医療機器等安全情報の情報提供について 3 「医薬品・医療機器副作用情報の情報収集と報告の流れ」の周知について 4 AED機能更新について 5 第3回 医療安全講演会開催について 6 中心静脈カテーテル挿入プロジェクトメンバー選出について 7 静脈炎・血管外漏出により壊死を起こす可能性のある薬剤について
第9回	11月13日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース (9月21日～10月25日) 2 第2・3回 医療安全講演会実施について 3 インシデントシステム導入について 4 医学研究および教育に関する同意書・説明書について 5 医療安全管理部門からの附属病院職員表彰について
第10回	11月27日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース (10月26日～11月15日) 2 手術部門運営委員会審議事項について①手術同意書 ②手術室退室時の確認 ③手術終了時のエックス線撮影 3 万年筆型インスリン注射器用注射針について 4 厚生労働省主催 医療安全フォーラムの概要について
第11回	12月11日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース (11月16日～11月29日) 2 中心静脈カテーテル挿入講習会開催、 平成19年度中心静脈カテーテル挿入プロジェクトメンバーについて 3 第15回 公表判定委員会について 4 手術部門運営委員会の審議事項の医療安全管理指針掲載について 5 医療安全に関する部門内検討・会議報告書提出状況について 6 第2分科会「入院診療計画書とクリティカルパス」について
第12回	12月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース (11月30日～12月13日) 2 厚生労働省特定機能病院 医療監視について 3 第5・6回医療安全講演会開催について 4 信仰上の理由により輸血を拒否する患者さまへの対応について 5 事例報告
第13回	1月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース (12月14日～1月10日) 2 第4・5回医療安全講演会実施について 3 医療安全講演会ビデオ上映会開催について 4 平成19年度 医療安全講演会テーマについて
第14回	2月19日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース (1月15日～2月7日) 2 患者安全推進ジャーナル危険予知トレーニング、精神科領域における 転倒・転落事故防止に記事について 3 平成19年度 新採用・転入職員医療安全研修について 4 インシデントシステムの研修開催について 5 事例検討
第15回	3月12日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース (2月8日～2月28日) 2 病院内コーナーへの曲面ミラーの設置について 3 リスクマネジャー分科会活動報告会実施について 4 平成19年度 新採用・転入職員医療安全研修ならびにビデオ上映会の開催につい て 5 インシデントシステムの導入スケジュール、研修について

第16回	3月26日	1 医療関連ニュース (3月1日～3月14日) 2 新採用職員・転入職員研修について 3 研修医オリエンテーションについて 4 インシデンシステム研修実施について 5 平成18年度 医療安全取り組みについて
------	-------	---

3 リスクマネージャー会議の活動状況

所属病院		
開催日	主な議題	
第1回	4月24日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成18年度 リスクマネージャー紹介、会議日程 2 附属病院安全管理体制とリスクマネージャーの役割について 3 平成18年度 医療安全管理の取り組みについて 4 医療安全管理の徹底について～説明と周知について～ 5 医療関連ニュース（3月23日～4月5日） 6 リスクマネージャー分科会のテーマについて 7 医学研究および教育に関する説明書・同意書の検討について
第2回	5月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース（4月13日～4月26日） 2 リスクマネージャー会議 分科会のテーマと運営について 3 平成18年度 医療安全病棟巡回について 4 分科会 <ul style="list-style-type: none"> 第1分科会：医療安全管理教育 第2分科会：インフォームドコンセントの充実と強化 第3分科会：安全な環境づくり
第3回	6月5日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース（4月27日～5月24日） 2 先端医科学研究センターバイオセンター構想について 3 行動制限（身体抑制・隔離）の説明書について 4 今年度医療安全病棟巡回の実施について 5 第1回 医療安全講演会開催について 6 医学情報センターの医療安全に関する図書について 7 分科会
第4回	7月3日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース（5月25日～6月21日） 2 平成17年度 医療安全の取り組みの記者発表について 3 麻薬の取り扱い・管理の徹底について 4 患者確認の徹底について 5 第1回医療安全講演会の実施報告およびビデオ上映会開催について 6 講演会参加者マークの配布について 7 医療安全病棟巡回実施状況について
第5回	9月4日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース（7月13日～8月23日） 2 医療安全に関する部門内会議検討報告書について 3 医療安全巡回の実施状況について 4 MRMニュース発行について 5 医療安全に関するプロジェクトの位置づけについて 6 事例報告 7 分科会
第6回	10月2日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース（8月24日～9月20日） 2 医療安全管理指針ポケット版の配布について 3 グリセリン浣腸剤の使用について 4 第2回 医療安全講演会開催状況について 5 リスクマネージャー会議 分科会活動中間報告について <ul style="list-style-type: none"> ①第1分科会：新採用者・転入者の医療安全研修 ②第2分科会：インフォームド・コンセントの充実と強化 ③第3分科会：安全な環境づくり

第7回	11月6日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース (9月21日～10月25日) 2 第3・4回医療安全講演会開催予定について 3 医療安全に関する部門内検討会議報告書提出について 4 「ケタラール静注用の麻薬指定に伴う」取り扱い変更について 5 MEセントラル生体患者情報システムの登録への患者氏名登録について 6 静脈炎、血管外漏出時に組織壊死を起こしやすい薬剤について 7 AEDの機能更新について
第8回	12月4日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース (10月26日～11月15日) 2 院内LANを使用するインシデント報告システムの導入について 3 手術部 ①手術同意書の記載について②手術室退室時の確認方法について ③手術終了時のエックス線撮影について 4 第4・5回 医療安全講演会開催について 5 心肺蘇生+AED研修開催について
第9回	1月15日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース (11月30日～12月20日) 2 医療安全講演会実施報告および開催予定について 3 中心静脈カテーテル挿入講習会開催について 4 職場内会議報告書提出状況について 5 患者確認の徹底の通知について 6 インシデントシステムの概要、導入スケジュールについて 7 信仰上の理由で輸血を拒否される患者さまの対応について 8 リスクマネジャー会議分科会の職員表彰について
第10回	2月5日	<ol style="list-style-type: none"> 1 リスクマネジャー分科会報告会 2 インシデントシステムの概要と導入スケジュールについて 3 第1分科会：新採用者、転入者研修のあり方 第2分科会：インフォームド・コンセントの充実、入院診療計画書について、 医学研究・医学教育のための院内包括同意書について 第3分科会：中央部門の安全管理巡回項目、麻薬・向精神薬管理、 医療機器の管理について
第11回	3月5日	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連ニュース (1月15日～2月7日) 2 インフルエンザ治療開始後の注意事項について 3 第5・6回 医療安全講演会について 4 平成19年度 新採用・転入職員医療安全研修について 5 インシデントシステムの研修について 6 平成18年度 各部署の医療安全の取り組みについて (5部署)